



第2回「森の図書館～福岡女子大の建設コンセプト」
「九州国立博物館といのちのたび博物館の建物解説」



第6回「福岡アジア美術館・福岡市美術館を訪ねて」



第9回「喜多屋のお酒と和食を楽しむ」



第12回「日本食とだしの文化」

福岡女子大学 生涯学習力レッジ 2015 (全14回)

目次

■ 理事長・学長あいさつ	2
■ 地域連携センター長・地域交流部門長あいさつ	2
■ 副センター長・女性生涯学習研究部門長あいさつ	2
■ 産学官地域連携部門長あいさつ	2
■ 平成27年度事業報告	
一地域交流部門一	
出前講義等	3-4
教員免許状更新講習	4
他機関との連携等	5
地域との交流、イベントへの参加	6
本学主催イベント	7

一産学官地域連携部門一

開催した講演会・セミナー	8-10
参加した展示会	10
その他	11
共同研究・受託研究等に係る外部資金獲得の状況	11

一女性生涯学習研究部門一

公開講座・講演会一覧	12
福岡女子大学公開講座	13
生涯学習力レッジ・特別講演会	14
■ お知らせ	15
■ 平成28年度公開講座のご案内	16

ごあいさつ



地域に生きる福岡女子大学

理事長・学長

梶山 千里

福岡女子大学は、福岡県立女子専門学校として、大正12年に開校しました。その後、昭和25年に、学制改革によって女子大学となり、平成18年には、大学設置者が福岡県から公立大学法人福岡女子大学に変わりました。さらに、平成23年に「国際文理学部」、平成27年4月には大学院を「人文社会科学部」「人間環境科学研究科」の2研究科に改組し、国境を越えた幅広い分野で活躍できる「次代の女性リーダーの育成」を目指しております。また、それと同時に、地域社会と連携し、その学術・文化・生活の振興に中心的な役割を果たすことも、重要な責務であると考えます。

地域連携センターは、平成23年度に設置され、女性生涯学習研究部門、産学官地域連携部門、地域交流部門の3部門から構成されています。発足後5年目となる平成27年度も、様々な分野から地域社会へ貢献できるよう、事業に取り組んでまいりました。

この地域連携センターの1年間の活動をまとめた地域連携センターニュースをお届けいたします。これからも、地域社会に開かれた大学として努力してまいります。



大学資源の活用アイデアを募集しています

地域連携センター長・地域交流部門長

国際文理学部 環境科学科 教授 田村 典明

福岡県の公立大学として地域に育まれ発展してきた福岡女子大学にとって、社会（地域）連携は、教育、研究と並ぶ本学が果たすべき3つの重要な柱です。これまで、本ニュースに掲載されているような、生涯学習カレッジ・公開講座といった講演会等の実施、地域住民と学生が一体となった活動の推進、地域をフィールドとした教育・研究活動、地域の自治体や学校等の諸団体の事業への協力など、学生・教職員による多様な社会・地域連携活動を行ってきています。

これからも本センター活動にご理解ご協力をお願いしますとともに、大学がもっている潜在的能力をさらに活用していただくためにも、社会（地域）連携に関する相談、提案をお気軽にお寄せいただきますようお願いいたします。



長期的視点にたった女性の生涯学習

副センター長・女性生涯学習研究部門長

副学長・国際文理学部 体験学習担当 教授 野依 智子

女性生涯学習研究部門は、1985年に設立された女性生涯教育資料室を前身としています。女性生涯教育資料室は図書館内に位置づき、女性の生活・文化に関わる文献の整備・公開と公開講座によって地域に貢献するという目的でした。

現在、女性生涯学習研究部門は、女性の生涯にわたるライフ・サイクルという長期的視野に応じたキャリア形成支援、学習支援を目的に機能しています。学生の主体的なボランティア活動・地域貢献活動や、学生の研究費助成の支援をしています。

社会人対象では、「知の発信」と題して本学教員の研究紹介を公開講座として実施し、さらに、平成27年度から新しい取り組みとして、芸術・食をテーマに生涯学習カレッジを年間14回講座で実施しています。今後も、女性生涯学習研究部門は、女性の生涯にわたる学習支援を通して地域に貢献していきたいと思っております。



研究活動のアピールを

産学官地域連携部門長

国際文理学部 食・健康学科 准教授 石川 洋哉

「リサーチコア」プロジェクトが本格的に始まりました。本学が「研究活動でアピールする」という強い意思表示だと感じています。「リサーチコア制度」は、学内外の研究者が連携研究を積極的に推進する新たな取り組みです（現在5件認定）。昨年11月、2件のリサーチコア（代表：野依先生・中村先生）に関連した産学官技術交流会「暮らしと食の未来を考える～多世代による地域づくりと高齢者の食～」を開催しました。身近な地域住民、介護施設、地方公共団体の方々など多数ご参加頂き（参加90名）、活発なご意見を頂きました。本学への大きな期待を感じました。次年度以降、期待を裏切ることなくリサーチコアが大きく進展することを強く願っています。

地域交流部門

地域交流部門では、地域との交流を大切にしております。同時に、地域ニーズの把握に努め、本学の持つ知的資源と地域ニーズのマッチング等の事業を展開することで、地域の活性化に寄与してまいります。

出前講義等

1. 出前講義

No.	開催日	学校名	学年	人数	教員名	内 容
1	2015年 6月 11日 (木)	福岡県立八幡南高等学校	1	19	村長 祥子 准教授	英語の歴史
2	2015年 6月 11日 (木)	福岡県立八幡南高等学校	2	17	村長 祥子 准教授	英語の歴史
3	2015年 7月 8日 (水)	福岡県立城南高等学校	2	40	大久保順子 准教授	江戸時代の「怪談」に学ぶ
4	2015年 7月 22日 (水)	筑紫女学園高等学校	1～3	57	バスマシリ・ジャヤセーナ 准教授	国際社会における日本の役割
5	2015年 9月 5日 (土)	九州国際大学付属高等学校	1～3	25	馬 昌珍 准教授	PM2.5 って何？
6	2015年 9月 11日 (金)	福岡県立青豊高等学校	1	30	橋本 直幸 准教授	職業としての「日本語教師」
7	2015年 9月 18日 (金)	福岡県立京都高等学校	2	18	月野 文子 教授	万葉のユーモア
8	2015年 9月 18日 (金)	福岡県立京都高等学校	2	22	金崎 良三 教授	からだと心とスポーツについての話
9	2015年 9月 24日 (木)	福岡雙葉高等学校	1、2	138	大久保順子 准教授	江戸時代の「怪談」に学ぶ
10	2015年10月 16日 (金)	福岡県立博多青松高等学校	1～3	10	金崎 良三 教授	からだと心とスポーツについての話
11	2015年10月 29日 (木)	福岡県立糸島高等学校	2	28	坂本 浩一 准教授	日本語とコミュニケーション文化
12	2015年11月 1日 (日)	長崎県立長崎南高等学校	1	20	佐藤 一紀 教授	生物毒から薬をつくる
13	2015年11月 1日 (日)	長崎県立長崎南高等学校	1	20	佐藤 一紀 教授	生物毒から薬をつくる
14	2015年11月 11日 (水)	福岡県立伝習館高等学校	1、2	40	スウェン・ホルスト 准教授	ドイツからみた日本
15	2015年12月 3日 (木)	福岡県立光陵高等学校	1～3	955	和栗 百恵 准教授	「世界と出会う」ということ
16	2015年12月 10日 (木)	福岡雙葉高等学校	1、2	67	水元 芳 准教授	国際食文化論
17	2016年 3月 5日 (土)	福岡県立香住丘高等学校	2	20	早淵 仁美 教授	食育は楽しく、わかりやすく
18	2016年 3月 5日 (土)	福岡県立香住丘高等学校	2	20	早淵 仁美 教授	食育は楽しく、わかりやすく
19	2016年 3月 5日 (土)	福岡県立香住丘高等学校	2	20	森 邦昭 教授	新しい学校教育の考え方と学ぶことの意味 ーアクティブラーニングの実践ー
20	2016年 3月 5日 (土)	福岡県立香住丘高等学校	2	20	森 邦昭 教授	新しい学校教育の考え方と学ぶことの意味 ーアクティブラーニングの実践ー
21	2016年 3月 5日 (土)	福岡県立香住丘高等学校	2	22	村長 祥子 准教授	英語の歴史
22	2016年 3月 5日 (土)	福岡県立香住丘高等学校	2	24	村長 祥子 准教授	英語の歴史
23	2016年 3月 5日 (土)	福岡県立香住丘高等学校	2	29	徐 阿貴 准教授	日本は「移民国家」になるのか？
24	2016年 3月 5日 (土)	福岡県立香住丘高等学校	2	32	徐 阿貴 准教授	日本は「移民国家」になるのか？
25	2016年 3月 24日 (木)	福岡県立福岡中央高等学校	2	32	片桐 義範 教授	チーム医療で取り組む栄養管理
26	2016年 3月 24日 (木)	福岡県立福岡中央高等学校	2	32	和栗 百恵 准教授	「大学で学ぶ」って何だろう？



出前講義 (P3)
3月5日 (土)
福岡県立香住丘高等学校



International Exchange Program (P4)
10月24日 (土)
福岡県立香椎高等学校



職場体験学習 (P4)
9月9日 (水)～11日 (金)
福岡市立香椎第2中学校



城香フェスタ (P4)
10月3日 (土)
福岡市立城香中学校



教員免許状更新講習 (P4)
8月1日 (土)、3日 (月)～5日 (水)【国語】
8月3日 (月)～5日 (水)【理科等】
8月7日 (金)～9日 (日)【栄養】

地域交流部門

2. スーパーサイエンスハイスクール (SSH)*

福岡県立香住丘高等学校

	実施日	学年	人数	教員名	内 容
1	4月 22日 (水)	2	40	山田真知子 教授 松尾 亮太 准教授 佐藤 一紀 教授 池田 宜弘 教授	実験Ⅰ・Ⅱの事前指導
2	5月 13日 (水)	2	20	山田真知子 教授 大坪 蘭子 助手	アサリは多量の赤潮生物を食べて海水を浄化するのに、何故、メタボにならないのか？！
3	5月 13日 (水)	2	20	佐藤 一紀 教授 山口 容子 助手	ヨウ素呈色法による唾液アミラーゼ作用の測定
4	5月 27日 (水)	2	20	松尾 亮太 准教授 美濃部純子 助手	ナメコジの学習行動
5	5月 27日 (水)	2	20	池田 宜弘 教授	表面張力を測定する
6	6月 17日 (水)	2	40	猪股 伸幸 准教授 田村 典明 教授 馬 昌珍 准教授 黒木 昌一 准教授	実験Ⅲ・Ⅳの事前指導
7	6月 24日 (水)	2	20	猪股 伸幸 准教授	キイロショウジョウバエ突然変異体の観察
8	6月 24日 (水)	2	20	馬 昌珍 准教授	発電モデル実験と排ガスの測定
9	7月 8日 (水)	2	20	田村 典明 教授 大坪 蘭子 助手	光合成：光エネルギーによって駆動される電子の流れを調べる
10	7月 8日 (水)	2	20	黒木 昌一 准教授	フラクタル次元を測る

福岡県立小倉高等学校

	実施日	学年	人数	教員名	内 容
1	7月 1日 (水)	2	21	田村 典明 教授	事前学習
2	9月 8日 (火)	2	21	田村 典明 教授 大坪 蘭子 助手	光合成：光エネルギーによって駆動される電子の流れを調べる

福岡県立明善高等学校 (医学・医療体験及びライフサイエンスセミナー合同研修)

	実施日	学年	人数	教員名	内 容
1	11月 6日 (金)	1	39	太田 雅規 教授	運動を中心とした健康増進活動について
2	11月 6日 (金)	2	40	大中 忠勝 教授	健康に住まう知恵 上手な冷暖房

3. その他

高等学校

	実施日	学校名	内 容
1	7月 22日 (水)	福岡県立久留米高等学校	「色彩と人間への影響」に関するインタビュー：庄山 茂子 教授 (総合的な学習の時間) (2年生 7名を福岡女子大学で受入)
2	8月 4日 (火)	福岡県立久留米高等学校	「日本食」に関するインタビュー：水元 芳 准教授 (総合的な学習の時間) (2年生 7名を福岡女子大学で受入)
3	10月 24日 (土)	福岡県立香椎高等学校	留学生 14 名が、1 年生対象の自国文化・異文化理解のためのプログラム「International Exchange Program」に、発表会オーディエンスとして参加
4	12月 4日 (金)	福岡県立香住丘高等学校	「スーパーサイエンスハイスクール生徒課題研究発表会・成果発表会」開催 (共催) (会場：本学大会会館 2 階大ホール及び地域連携センター)

中学校

	実施日	学校名	教員名	内 容
1	9月 9日 (水) ～11日 (金)	福岡市立香椎第 2 中学校	豊貞佳奈子 准教授 (エコスタイル学研究室) 石川 洋哉 准教授 (食品学研究室) 松尾 亮太 准教授 (神経科学研究室) 吉村 利夫 教授 (生活環境材料学研究室)	職場体験学習 各研究室にて実験準備補助、生協 J ショップ (売店) 業務補助等 9月 9日 (水)：エコスタイル学研究室、食品学研究室 9月 10日 (木)：生協 J ショップ、神経科学研究室 9月 11日 (金)：図書館、生活環境材料学研究室
2	9月 15日 (火) ～17日 (木)	福岡市立和白丘中学校	石川 洋哉 准教授 (食品学研究室) 金崎 良三 教授 (スポーツ科学研究室) 田村 典明 教授 (植物細胞工学研究室)	職場体験学習 各研究室にて実験準備補助、生協 J ショップ (売店) 業務補助等 9月 15日 (火)：食品学研究室、女性研究者支援室 9月 16日 (水)：生協 J ショップ、スポーツ科学研究室 9月 17日 (木)：植物細胞工学研究室、図書館
3	10月 3日 (土)	福岡市立城香中学校	徐 阿貴 准教授 張 艶 准教授 バスマシリ・ジャヤセーナ 准教授	「城香フェスタ」で講演 「韓国を知ろう」 「文化で見る日本と中国」 「スリランカを知ろう 現代スリランカの政治と社会」
4	1月 28日 (木)	福岡市立香椎第 3 中学校	藤岡留美子 助教	「環境・福祉」学習のインタビュー (総合的な学習の時間) (1年生 4名を福岡女子大学で受入)

その他

	実施日	学校名	教員名	内 容
1	8月 1日 (土)	九州私学理科教員研修会	山田真知子 教授	「生きものをういた海の健康診断」という表題で講演

教員免許状更新講習

教員免許更新制の免許状更新講習として、文部科学大臣の認定を受けて、選択の 3 科目 (国語、理科等、栄養) について、次のとおり開設しました。(参加者延べ 165 名)

1. 国語 時間数：6 時間 実施場所：地域連携センターセミナー室

	実施日	タイトル	担当講師
1	8月 1日 (土)	「国語」教材の購読Ⅰ	月野 文子 教授 工藤 重矩 客員教授
2	8月 3日 (月)	「国語」教材の購読Ⅱ	今井 明 教授 大久保順子 准教授
3	8月 4日 (火)	「国語」教材への視点	橋本 直幸 准教授 坂本 浩一 准教授
4	8月 5日 (水)	境界を超える「文学」・「歴史」・「ことば」	渡邊 俊 准教授 坂口 周 講師 矢野 準 教授

2. 理科等 時間数：6 時間 実施場所：地域連携センターセミナー室、情報処理演習室他

	実施日	タイトル	担当講師
1	8月 3日 (月)	光と大気と地球環境	藤岡 祐一 教授 馬 昌珍 准教授
2	8月 4日 (火)	生活環境の評価－光環境と景観	森田 健 教授 岩崎 慎平 講師
3	8月 5日 (水)	近年の環境政策の理解と環境データの分析	岡山 俊直 准教授 藤野 友和 講師

3. 栄養 時間数：6 時間 実施場所：研究棟 A705 教室

	実施日	タイトル	担当講師
1	8月 7日 (金)	食指導の実践に生かす栄養学的・解剖生理学的基礎	中村 強 教授 濱田 俊 教授
2	8月 8日 (土)	学校における食育の推進と学校内外の連携協力についての理解	沖田 千代 特任教授 早刈 仁美 教授
3	8月 9日 (日)	学校における食の安全確保と食品の活用方法	石川 洋哉 准教授 舟木 淳子 准教授 片桐 義範 教授 高橋 徹 准教授

*SSH = 文部科学省スーパーサイエンスハイスクール

他機関との連携等

東部地域大学連携（福岡女子大学・九州産業大学・福岡工業大学）の学生活動

福岡女子大学・九州産業大学・福岡工業大学は、相互の教育・研究の一層の進展と地域社会の発展に寄与することを目的として、平成 23 年度に連携協定を締結しました。連携の一環として、学生による地域との交流活動を行っています。



○秋の交通安全キャンペーン

日 程：9 月 18 日（金）
場 所：JR 千早駅前
参加者：学生 4 名（うち本学 2 名）
3 大学の学生が福岡県東警察署と連携し、交通安全キャンペーンに参加しました。活動開始に先駆けて行われた開会式では、東部地域大学連携を代表して、九州産業大学の学生が交通安全宣言を行いました。

○年末の地域安全・交通安全キャンペーン

日 程：12 月 11 日（金）
場 所：イオンモール香椎浜店
参加者：学生 7 名、職員 5 名（うち本学学生 1 名、職員 2 名）
3 大学の学生が、地域団体の方や福岡県東警察署の方等と一緒に、来店者に対し、「飲酒運転撲滅」や「歳末防犯」を訴えるチラシやポケットティッシュを配布しました。また開会式では、各参加団体代表の挨拶があり、東部地域大学連携からは福岡工業大学の学生が挨拶を行いました。



○飲酒運転はさせない見逃さない運動



日 程：12 月 11 日（金）
場 所：西鉄香椎駅周辺
参加者：学生 3 名、職員 3 名（うち本学学生 1 名、職員 1 名）
福岡県東警察署と連携して、酒類を提供する飲食店等に対し、飲酒運転撲滅への協力を呼びかける取り組みを行いました。開会式では、東部地域大学連携を代表して福岡女子大学の学生が挨拶を行い、東警察署と地域団体の方と一緒に飲食店を訪問し、チラシやポスターを配布しました。

○香椎参道クリーン大作戦

日 程：10 月 4 日（日）
場 所：香椎参道及び香椎宮境内
参加者：学生 17 名、職員 4 名、地域の方 1 名（うち本学学生 6 名、職員 2 名）
3 大学の学生が、香椎参道及び香椎宮境内の清掃を行いました。これは、10 月 9 日（金）に、香椎宮で 10 年に 1 度の「勅祭」が斎行されることに合わせて行ったものです。当日は、地域の方にご指導をいただきながら、3 つのグループに分かれて参道の清掃を行った後、全員で境内の清掃を行いました。



○クリーン大作戦

日 程：2 月 11 日（木・祝）
場 所：福岡女子大学、九州産業大学、福岡工業大学周辺の 3 地域
参加者：学生 26 名、職員 7 名、地域の方 12 名（うち本学学生 6 名、職員 2 名）
3 大学周辺地域を、それぞれ地域の方と一緒に清掃しました。



○学生による調査研究事業

「アイランドシティにおける環境・景観・歴史との調和を探して」

日 程：10 月～3 月
参加者：学生 14 名、教員 3 名（うち、本学学生 3 名、教員 1 名）
3 大学の学生有志が、アイランドシティをフィールドに、まちづくりにおける環境・景観・歴史との調和を探して、調査研究及び発表を行いました。

連携協定に基づく福津市との連携（学生）

○郷育カレッジ開講式「郷育のつどい」

日 程：7 月 11 日（土）
場 所：福津市中央公民館 ホール
郷育カレッジ開講式と福津市青少年市民の会総会が「郷育のつどい」として、福津市中央公民館で開催されました。当日は、小学生による獅子舞に始まり、様々な催しが行われ、本学放送サークルが司会を務めました。

○郷育カレッジ「女子大生の企画に参加しよう！」

日 程：1 月 8 日（金）
場 所：福岡女子大学
本学学生が企画した郷育カレッジの講座「女子大生の企画に参加しよう！」を実施しました。当日は、学内ツアーや食堂の利用、グループに分かれての座談会等を行いました。

○八百屋女子大（あんずの里市との連携）

日 時：7 月～2 月まで隔週（例外有） 16：30～18：30
場 所：福岡女子大学地域連携センター周辺
福津市勝浦にあるあんずの里市の方と本学体験学習履修生が連携し、旬の野菜や加工品、手作りお菓子等を販売しました。また、生産者の方にもお越しいただき、地域の方や本学学生との交流を行いました。

連携協定に基づく福津市との連携（教員）

○親子でなぞとき理科実験教室

日 程：8 月 22 日（土）
場 所：福岡女子大学
担 当：田村 典明 教授、馬 昌珍 准教授、大坪 蘭子 助手
福津市と本学女性研究者支援室との共同企画により、福津市の小学校 5、6 年生とその保護者、計 5 組 11 名が参加し、「親子でなぞとき理科実験教室」を行いました。当日は、教員や学生の指導のもと、4 つのなぞとき実験に挑戦しました。

○理系女子のススメ

日 程：11 月 1 日（日）
場 所：福岡女子大学
担 当：田村 典明 教授、馬 昌珍 准教授、大坪 蘭子 助手
福津市と本学女性研究者支援室の共同企画として、本学の学園祭「かずみ祭」に合わせ、福津市の中高生を対象とした理科実験セミナーを開催しました。当日は、計 16 名の中高生及び保護者が来学し、地球温暖化モデル実験や双眼鏡による緑藻クラミドモナスの観察等を体験しました。また、かずみ祭を見学し、本学教員や学生とランチミーティングも行いました。

○コミュニティ・スクール神興東

担 当：早淵 仁美 教授
期 間：平成 23 年度～平成 28 年度
場 所：福津市立神興東小学校
子どもたちの健全な生活習慣の形成を目的に、早寝・早起き・朝ご飯と健康状態やお手伝いの状況を調査し、食育の普及を図り、その経過を調査し成果を検証します。また、保護者を対象に食育講演会、子どもたちを対象に食育活動を実践します。

○福津市委員等

- ① 福津市食育推進会議 会長
担 当：水元 芳 准教授
期 間：平成 27 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日
- ② 福津市環境審議会 学識経験者委員
担 当：山田 真知子 教授
日 時：第 19 回 9 月 8 日（火）15：00～16：20

福岡市香住丘公民館共催

留学生と地域の皆さんとのそば打ち体験教室

日 時：1 月 23 日（土） 15：00～17：30
場 所：福岡市香住丘公民館
参加者：17 名（WJC 留学生 13 名、日本人学生 3 名、職員 1 名）

そば打ちという日本の文化体験を通して、地域の方々と留学生とが楽しく交流を深めることを目的として、福岡市香住丘公民館と共催で開催いたしました。WJC 留学生 13 名と日本人学生 3 名が参加しました。

そば打ちに参加した本学 WJC プログラム*で学ぶ留学生達は、福岡そばの会の皆様の指導の下、そば打ちに取り組み、打ちたてのおいしいそばを味わいました。

* WJC プログラム = The World of Japanese Contemporary Culture Program (外国人留学生向け短期留学プログラム)



地域交流部門

地域との交流、イベントへの参加

香住丘校区防犯パトロール

日 時：毎月第3金曜日 20：00～20：50
場 所：福岡市東区香住丘校区

本学が所在する福岡市東区香住丘校区では、校区の安全のため、毎月第3金曜日に3ルートに分かれ、パトロールを実施しています。本学は、平成24年1月から、寮生である1年生を中心に本活動に参加しており、平成27年度は、留学生を含む学生や教職員延べ18名が参加しました。



マンドリンクラブ出張演奏会

日 程：10月17日（土）
場 所：福岡市東区香椎3丁目（宮の台）

マンドリンクラブが、香椎3丁目の宮の台集会所でコンサートを行いました。宮の台自治会の皆さんは、例年「芸術の秋」にあわせて音楽会を開催されており、今年度は、本学のマンドリンクラブにお声かけいただきました。



高齢者と小さな子どものふれあい広場

日 程：5月22日（金）
場 所：かしいかえん大テント

香住丘校区の「高齢者と小さな子どものふれあい広場」に、本学のサークル「民族舞踊研究部」が出演しました。メンバーは、様々な国の衣装を着て「ミラノボコロ」（セルビア）と「ハーモニカ」（イスラエル）の2曲を踊りました。



香住丘公民館地域交流文化祭

日 程：10月17日（土）、18日（日）
場 所：香住丘公民館

香住丘公民館で地域交流文化祭が開催され、17日（土）には、本学茶道部が和室をお借りして、お茶席を行いました。

東香園合同発表会

日 程：10月30日（金）、31日（土）
場 所：福岡市立老人福祉センター 東香園

東香園において、2日間にわたり、東香園教室合同発表会が行われました。これは、東香園や老人いこいの家の教室等で日頃練習されている芸事や製作した作品を披露する場として開催されているものです。

本学は、平成24年度から教員や学生が「特別出演」として参加しており、今年は2日目午前の部の最後に、次の2組が出演しました。今後も行事に参加させていただき、地域の皆様と交流が深められればと思います。

- ・一管「羽衣 和合之舞」 沖田 千代 教授
- ・仕舞「高砂」 スウェン・ホルスト准教授
- 「羽衣」 国際教養学科2年 村田 七生
- 「紅葉狩」 国際教養学科2年 田村 有梨佳



香住丘校区夏まつり

日 程：7月25日（土）
場 所：かしいかえん大テント

かしいかえんにおいて、香住丘校区の夏まつりが開催され、本学の学生は、受付等に協力、ステージイベントの司会を務めた他、他大学との合同バンドがステージ出演しました。また、「だんだんボックス学生実行委員会」が缶バッチ作りやかき氷を出店し、行列ができる大繁盛でした。

なお、香住丘公民館並びに地域の皆様のご好意により、浴衣の貸出や着付けをしていただき、留学生を含む学生約30名が浴衣姿で参加することができました。心より御礼申し上げます。



香住丘音楽会

日 程：9月5日（土）
場 所：福岡市立東市民センター ホール

福岡市立東市民センターにおいて、第17回香住丘音楽会が開催されました。小さなお子さんからシニアの方まで幅広い年代の方が参加され、盛りだくさんの内容でした。また、本音楽会の司会は、本学学生が務め、終了後のアンケートでも好評の声をいただきました。

千早並木グローカルフェスティバル

日 程：10月17日（土）
場 所：千早並木広場

千早駅前の千早並木広場で「千早並木グローカルフェスティバル」を開催しました。これは、福岡市東区に所在する4大学（福岡工業大学、九州産業大学、福岡女子大学、九州大学）と九州工業大学の留学生及び日本人学生から成る実行委員会と、地域活性化団体「ちはやふるかしい21」が共同企画したものです。当日は、日本を含む16か国の学生がスタッフとして参加し、民族舞踊等のステージパフォーマンスや8か国の料理の販売、各国の文化や雑貨を紹介する展示等が行われました。

本学からは、留学生と同好会「HI-FIVE」のメンバーが参加し、また東部地域大学連携も後援しました。

アイランドシティ まちの学校

日 時：11月21日（土）13：00～16：30
場 所：福岡市東区香椎照葉

学生ボランティアグループ「なでしこ」が、地域の方々がお互いに特技や知恵を活かして講師や生徒となる不定期開催のイベント「まちの学校」でミニ講座「クリスマスオーナメントを作ろう」を担当しました。



合唱同好会発表会

日 程：①12月19日（土）②12月20日（日）
場 所：①福岡市立老人福祉センター 東香園 ②香住ヶ丘杜の家

本学合唱同好会は今年結成された同好会です。学生から、地域の方の前でぜひ披露したいとの申し出があり、大学近隣の両施設に機会をいただき、発表会を行いました。

当日は、それぞれ8曲を披露し、参加者の方々と合唱や交流を楽しみました。ご参加いただいた皆様、機会をいただいた両施設の方々に御礼申し上げます。



本学主催イベント

なでしこキッズスクール（通年）

日 時：7月～2月 10：00～12：00
場 所：福岡女子大学 サークル棟他

事前登録した香住丘小学校 5、6 年生に、本学サークル活動にちなんだ活動を体験してもらう「なでしこキッズスクール」を開催しました。運営は、本学学生有志によるなでしこキッズスクール実行委員会が中心となっており、全 8 回の活動で交流を深めました。

<スケジュール>

回	日 程	参加サークル	内 容
1	7 月 4 日(土)	開校式・バレーボール部	トーナメント形式でゲームを行いました。
2	8 月 22 日(土)	陸上競技部	からだを動かす遊びをしました。
3	9 月 19 日(土)	なでしこキッズスクール 実行委員会	2 種類のテーブルゲームをしました。
4	10 月 17 日(土)	バドミントン部	一緒にバドミントンを楽しみました。
5	11 月 28 日(土)	裏千家茶道部	お茶会体験後、実際にお茶をたてました。
6	12 月 19 日(土)	文藝部	絵本の読み聞かせ後、読書を楽しみました。
7	1 月 23 日(土)	箏曲同好会	演奏鑑賞後、実際に琴を弾いてみました。
8	2 月 20 日(土)	民族舞踊研究部・修了式	色々な国の踊りを踊りました。



高校生のためのイングリッシュ・キャンプ

日 程：10月10日（土）～12日（月）2泊3日
場 所：福岡女子大学 D 棟、国際学友寮 なでしこ 他

高校生 1、2 年生の女子 40 名が参加し、「高校生のためのイングリッシュ・キャンプ」を開催しました。

参加者は、本学学術英語プログラム（Academic English Program: AEP）講師による授業を受講し、1 日目は留学生へのインタビュー等を行い、2、3 日目は、4 人 1 組の 10 グループに分かれて、興味のある国とトピックについてポスタープレゼンテーションを行いました。各グループとも工夫を凝らした発表が行われ、最終日の閉講式では、優れたグループと個人が表彰されました。

また、本学の 1 年生及び留学生が暮らす国際学友寮 なでしこの大広間に宿泊し、料理づくりや英語で行うゲーム等で、学生や留学生との交流を楽しみました。

参加者の各種サポートを行った本学学生や留学生にとっても、高校生が熱心に取り組む姿は刺激となりました。



白川英樹先生 2000 年ノーベル化学賞受賞記念講演会 「知ること～セレンディビティーと待ち構えた知性～」

日 時：11月6日（金）16：00～18：00
場 所：イムズホール

2000 年にノーベル化学賞を受賞された白川英樹先生（筑波大学名誉教授）を講師にお招きして、講演会を開催しました。これは、本学と九州大学が福岡市内 6 大学（西南学院大学、福岡大学、中村学園大学、福岡歯科大学、九州産業大学、福岡工業大学）と連携し、ノーベル賞受賞者の研究に関する輝かしい業績だけでなく、その探究心を語っていただくことで、特に若者の将来への情熱に結び付けてもらいたいという目的で開催しているものです。今回の講演会には、約 250 名の高校生を中心に約 400 名が参加しました。

今回講師にお招きした白川先生は、満員となった聴衆に向けて、「セレンディビティーは、偶然や失敗がきっかけで、目的以上に素晴らしい発明や発見をする能力のこと」と紹介された後、「当たり前と思っていることを疑ってみることが大切。セレンディビティーは、単なる知識を超えて、しっかり学び身につけた人に訪れるもの。何事にも積極的な行動で、多くのことを経験し、興味を抱くことを怠らないでほしい」とメッセージを送られました。

また、講演後の質疑応答では、多くの高校生から手が上がり、「研究で壁にぶつかった時はどうやって打開されますか」という質問には、「登山が気分転換になった。何かもうひとつ、熱中できることをもつといいのでは」とアドバイスをされました。



産学官地域連携部門

産学官地域連携部門では、大学の知的資源を活用し、地域社会の発展に貢献するため、企業や公的機関との共同研究のサポートや、各種セミナー、技術交流会などの実施によって、産学官連携を推進します。また、一方で、地域企業等からの研究に関連した相談の窓口となっています。

開催した講演会・セミナー

第 353 回国連講演会「貧困撲滅に向けた国連 70 年の歩みとこれから」

日 程：6 月 11 日（木）14:40～16:10
場 所：福岡女子大学地域連携センター セミナー室 2
講 師：近藤 哲生氏（国連開発計画 [UNDP] 駐日代表事務所代表）
参加者：78 名（学生 28 名、教職員 10 名、市民 40 名）

内容 アフリカ約 60 カ国が 1960 年代に独立した際、国づくりを支援する国際機関として発足した UNDP のこれまでの活動と今後の展望についてご説明いただきました。



国連講演会

国際セミナー「気候変動問題をビジネスチャンスに—アメリカの新たな挑戦—」

日 時：6 月 19 日（金）10:30～12:00
場 所：福岡女子大学学生会館
講 師：Ken Haig 博士
（アメリカ企業 Opower 渉外部ディレクター）
参加者：137 名（学生 93 名、教職員 10 名、市民 34 名）

内容 在福岡アメリカ領事館との共催で、省エネ対策に取り組むアメリカのスタートアップ企業の Haig 博士に、気候変動問題に対するアメリカの革新的な取組みについてお話しいただきました。セミナー終了後は環境科学科の学生とのランチミーティングも行いました。



国際セミナーの様子



ランチミーティング

第 1 回外部資金獲得セミナー（女性研究者支援室と共催）

日 時：7 月 28 日（火）16:20～17:50
場 所：福岡女子大学地域連携センター セミナー室 2
講 師：三宮紀彦 公認会計士／税理士
（あやの会計～三宮紀彦公認会計士・税理士事務所）
参加者：81 名（教職員 81 名）

内容 文部科学省の「研究機関における公的研究費の管理・監査のガイドライン」及び「研究活動における不正行為への対応等に関するガイドライン」の概要や、これまでに明らかになった大学・研究機関等における不正事例等を参照しながら、本学の今後の取組みについてわかりやすくご説明いただきました。



第 1 回外部資金獲得セミナーの様子

第 2 回外部資金獲得セミナー（女性研究者支援室と共催）

日 時：9 月 29 日（火）

【第一部】14:40～15:30、【第二部】15:30～16:10

場 所：福岡女子大学地域連携センター セミナー室2

参加者：52 名（教職員 52 名）

【第一部】講演会「科研費等採択・審査経験者に聞く一外部資金申請に際して留意すべきポイントとは」

講 師：向井 剛 教授

濱田 俊 教授

松尾 亮太 准教授

【第二部】平成 28 年度科研費公募要領および執行等について（財務管理班・地域連携班）

内容 第一部の講演会では、これまでに科研費をはじめとする外部資金の採択や審査を経験された本学の 3 名の教員に、外部資金の申請に際して、留意すべきポイントや心構えについてご講演いただきました。

第二部では、事務担当職員から、今年度の事務手続き等の説明を行いました。



第 2 回外部資金獲得セミナーの様子

産学官地域連携セミナー「食と健康を考える 2015」

日 時：平成 27 年 10 月 23 日（金）14 時 20 分～18 時 00 分

場 所：福岡ビジネス創造センター

参加者：50 名（学生 39 名、教職員 4 名、市民 7 名）

【講演 1】「脱水症状と経口補水療法」

講 師：東 拓人 氏

（株式会社 大塚製薬工場 OS-1 事業部 九州ブロック）

内容 脱水からの回復、脱水の進行防止を目的として開発された経口補水液（ORS）の特徴、小児・高齢者がおられるご家庭での利用方法などをご紹介いただきました。

【講演 2】「生活習慣病と食事」

講 師：田中 恵理香 氏

（独立行政法人国立病院機構福岡東医療センター 栄養管理室管理栄養士）

内容 普段の食事や加工食品などに含まれる塩分・糖分・脂質の話題を中心に、生活習慣病のリスクと予防についてご講演いただきました。

【講演 3】「食と運動の大切さ～長く健康で働くために」

講 師：太田 雅規 氏

（福岡女子大学 国際文理学部 食・健康学科 教授）

内容 現在の労働の場が抱える問題、運動と食による生活習慣病の予防とメンタルヘルス対策についてご講演いただきました。



【講演 1】の様子

【講演 2】の様子

【講演 3】の様子

第 13 回福岡女子大学産学官技術交流会 「暮らしと食の未来を考える～多世代による地域づくりと高齢者の食～」

日 時：平成 27 年 11 月 27 日（金）14:40～18:00

場 所：福岡女子大学 地域連携センター セミナー室2

主 催：福岡女子大学地域連携センター

共 催：福岡県立大学 九州歯科大学

参加者：90 名（学生 29 名、教職員 34 名、市民 27 名）

内容 本学における「リサーチコア」の取組みとして、① UR 都市再生機構香椎若葉団地での多世代共住によるコミュニティの活性化、②高齢者・介護者などに向けた疾病予防、介護食等の新規食品・食材開発について、その研究内容を発表いただくとともに、産・学・官それぞれの立場から、取組みの現状、成果及び課題等についてご講演いただきました。

『第 1 部：多世代による地域づくり』

<講演 1> 「共住と体験学習を通じたコミュニティの活性化—みんなのラボ@若葉の活動報告—」

講 師：野依 智子氏（福岡女子大学 国際文理学部教授）／学生

<講演 2> 「UR 賃貸住宅における大学と連携した『コミュニティ、健康・栄養・環境・エネルギー』等をキーワードとした取組みについて」

講 師：中村 直寿氏（UR 都市機構 九州支社 住宅経営部 部長）

<講演 3> 「八幡市・男山地域のコミュニティ拠点『だんだんテラス』の取組み」

講 師：辻村 修太郎氏（関西大学団地再編プロジェクト 京都府まちの公共員）

『第 2 部：高齢者の食』

<講演 4> 「医食農水連携による疾患予防、介護食等の新規な食材・食品の開発と臨床応用展開」

講 師：中村 強氏（福岡女子大学 国際文理学部教授）

<講演 5> 「ふくおか食品開発支援センターの取り組みについて」

講 師：塚谷 忠之氏（福岡県工業技術センター生物食品研究所・食品課）

<講演 6> 「トレハロースが奏でる美味しさと健康～糖尿病リスク低減に向けた食事の提案～」

講 師：丸田 和彦氏（株式会社林原 研究開発本部 応用研究部 食品・ヘルスケア素材課）

<講演 7> 「高齢者の誤嚥予防について—あきらめない経口摂取へのアプローチ—」

講 師：樺 直美氏（福岡県立大学 看護学部 臨床看護学系准教授）



【講演 1】の様子

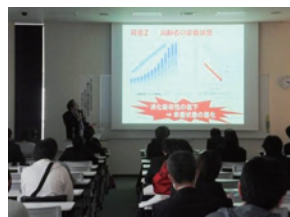
産学官地域連携部門



【講演2】の様子



【講演3】の様子



【講演4】の様子



【講演5】の様子



【講演6】の様子



【講演7】の様子

知的財産権セミナー

日 時：3月9日（水）13:00～14:30
場 所：福岡女子大学地域連携センター セミナー室2
講 師：園田 真紀氏（みずほ法律事務所 弁護士）
参加者：43名（教職員42名、関係団体1名）

内容 「教育現場における著作権」をテーマに、事例を交えた具体的な解説をしていただきました。



知的財産権セミナーの様子

参加した展示会

「エコ・ベンチャー・メッセ 2015」

期 間：10月7日（水）、8日（木）、9日（金）
場 所：西日本総合展示場新館

内容 「エコ・ベンチャー・メッセ 2015」（同時開催：エコテクノ2015）に、本学が出展しました。本学出展ブースでは、本学研究者の日頃の研究成果をまとめたパネルを展示し、開催期間を通して62名の方にブースを訪れていただきました。



エコ・ベンチャー・メッセ 2015
福岡女子大学出展ブースの様子1



エコ・ベンチャー・メッセ 2015
福岡女子大学出展ブースの様子2

その他

パブリック・ガバナンス改革シンポジウム

～真の地方創生に向けて、パブリック・ガバナンス改革の現場からの報告～

日 時：平成 27 年 9 月 13 日（日） 13:00 ～ 17:00

場 所：福岡女子大学 地域連携センター セミナー室2

内容

行政運営効率化を協議・検討する「パブリック・ガバナンス改革推進協議会」が主催するシンポジウムを本学で開催しました。協議会は、昨年度、福岡女子大学、関電システムソリューションズ、新日本有限責任監査法人、福岡県内の 5 市（飯塚、糸島、太宰府、直方、宗像）、大阪府吹田市により設立され、これまで、決算や行政評価を予算に活用する仕組みをはじめとして、行政組織の効率化や強化に向けたインフラ整備の在り方などを検討してきました。

シンポジウムでは、基調講演として、九州大学産学連携センターの谷口博文教授がパブリック・ガバナンス改革と地方創生について講演され、特別講演として、兵庫県川西市の本荘重弘副市長が、行政評価を行財政運営に活用している同市の先進的な取り組みを紹介されました。また、協議会メンバーの各市の企画担当職員によるパネルディスカッションでは、現場からの声が多く出されました。そして、関電システムソリューションズが開発した、協議会ワーキングチームで出された意見等を反映した「行政経営管理システム」のデモ画面も初公開されました。



【基調講演】の様子



【特別講演】の様子



【パネルディスカッション】の様子

共同研究・受託研究等に係る外部資金獲得の状況

種 別	件 数	金 額
共同研究	13	9,900,000 円
受託研究	7	11,753,448 円
寄附金	8	3,200,000 円
科学研究費助成事業（日本学術振興会） 研究代表者分	33	44,979,782 円
科学研究費助成事業（日本学術振興会） 研究分担者分	21	7,017,400 円
厚生労働科研費 研究分担者分	1	1,000,000 円
平成 25 年度科学技術人材育成費補助事業 「女性研究者研究活動支援事業（一般型）」（文部科学省）	1	28,751,770 円
平成 26 年度「高度人材育成のための社会人学び直し大学院プログラム」（文部科学省）	1	10,990,799 円
平成 27 年度「大学教育再生加速プログラム（AP）」（文部科学省）	1	20,687,000 円
計	86	138,280,199 円



女性生涯学習研究部門

女性生涯学習研究部門では、年間を通して様々な公開講座・講演会を実施しています。性別・年齢を問わず受講できますので、まずはお気軽にお問合せください。

公開講座・講演会一覧

事業名称	講 演 概 要	講座数	実施日数	延べ受講者数
福岡女子大学公開講座	「スポーツと文化について学ぶ」 (5/30、6/6) ① 5月30日(土)「文化とスポーツはどのように捉えられてきたか?」 ② 6月6日(土)「スポーツ文化の具体的内容について」	2	2	13
	「Learning through English: Culture and Communication」 (5/30、6/6、6/27、7/11) 【定員】先着 15 名 【対象】TOEIC400 点以上もしくはそれと同等の英語力をお持ちの方	4	4	35
	「暮らしを豊かにするために－光・住まい・生活－」 (6/7、6/14、6/21、6/28、7/5、7/12) ① 6月7日(日) 生活の中にある光とその特性を知る ② 6月14日(日) 人のこころとからだに及ぼす光の影響 ③ 6月21日(日) 健康に住まう知恵 1. 上手な冷暖房 ④ 6月28日(日) 健康に住まう知恵 2. 安全で快適な浴室と入浴 ⑤ 7月5日(日) 日常生活におけるプラスチック ⑥ 7月12日(日) 紙おむつのあれこれ	6	6	64
	「後に続く女性たちへ－教員先生からのメッセージを受けて－」 (7/21、11/17、2/20) ① 7月21日(火)「学生の立場から」 ② 11月17日(火)「教職員の立場から」 ③ 2月20日(土)「卒業生の立場から」	3	3	73
	「知の発信－福岡女子大学研究紹介－」 (11/7、12/12、1/9、2/13) ① 11月7日(土)「ナメクジの驚くべき能力」 ② 12月12日(土)「和食ブームと日本の農業の未来～食材輸出は日本農業の救世主となるか?～」 ③ 1月9日(土)「新蘭学事始～戦後 70 年、オランダ社会の過去との向き合い方～」 ④ 2月13日(土)「韓国における『反日問題』の背景にあるもの」	4	4	165
	「異文化への招待－国境や文化を越えて－」 (1/31、2/7、2/14、2/21) ① 1月31日(日) 世界と出逢う～大学教育の今日的課題と海外体験学習 ② 2月7日(日) スリランカの国内社会における紛争と和解：新しい民主主義とガバナンスの可能性 ③ 2月14日(日) バングラデシュにおけるグラミン銀行の貧困緩和の方法 ④ 2月21日(日) 文学・映画における食生活描写の文化的意義	4	4	179
生涯学習カレッジ	生涯学習カレッジ「生涯学習カレッジ 2015」 ① 6月20日(土)「生涯学習カレッジの開講にあたって」 「福岡女子大美術館の展示作品について」 ② 7月4日(土)「森の図書館～福岡女子大の建設コンセプト」 「九州国立博物館といのちのたび博物館の建物解説」 ③ 7月18日(土)「人生を豊かにする芸術～絵画の楽しみ」(九州市民大学) ④ 8月1日(土)「日本文化の中の母子関係」 ⑤ 8月22日(土)「福岡のアートを訪ねて」 「美術作品のみかた」 ⑥ 9月5日(土)「福岡アジア美術館・福岡市美術館を訪ねて」 懇親会 ⑦ 9月22日(火)「世界の無形文化遺産になった和食文化」(九州市民大学) ⑧ 10月3日(土)「博多の食」 ⑨ 10月17日(土)「喜多屋のお酒と和食を楽しむ」 ⑩ 10月31日(土)「食と器－博多曲物」 ⑪ 11月21日(土)「映画にみえる食生活の側面」 ⑫ 11月28日(土)「日本食とだしの文化」 ⑬ 12月16日(土)「芸どころ博多～博多古謡で訪ねる福・博の歴史」(九州市民大学) ⑭ 12月19日(土)「修了式」 「平成 27 年度の振り返りと平成 28 年度生涯学習カレッジに望むこと」	14	14	311
	「統計解析ソフトウェア R の勉強会@福岡 (fukuoka.R #4)」 (9/26) 主催：R 勉強会@福岡 共催：福岡女子大学地域連携センター ① R のインストールと入門編 ② GIS 関連パッケージの紹介 Twitter データの取得と集計 & 可視化	2	1	20
講演会	福岡女子大学特別講演会「スローフードな食卓を！イタリアから日本へ おいしさの哲学」 (12/18) 主催：福岡女子大学、福岡女子大学同窓会筑紫海会	1	1	141
合 計		40	39	1001

福岡女子大学公開講座

「スポーツと文化について学ぶ」

スポーツと文化の概念や関係性、具体的内容について紹介しました。また、ルールや設備、用具、服装などがどのように変更されてきたのかなど、スポーツを様々な角度から考察しました。



「Learning through English : Education, Culture and Communication」

福岡女子大学では、平成 24 年度から英語能力向上を目指す方向への講座を開催しています。昨年度に引き続き、平成 23 年度に設置された国際文理学部の特色の一つである、学術英語プログラム（AEP : Academic English Program）の教員が講師を担当しました。

「暮らしを豊かにするために－光・住まい・生活－」

光・住まい・生活をテーマに、3 人の教員が担当しました。第 1 回、第 2 回では、実験器具を用いて、光の照度を測定・比較し、光が人の心と体にどのような影響を与えるのかについて紹介しました。また、第 3 回、第 4 回では、快適な冷暖房の使い方や入浴中の事故を防ぐ方法について、第 5 回、第 6 回ではプラスチックのリサイクルやオムツの使い方等について紹介し、高齢者の生活に役立つ情報を提供しました。



「後に続く女性たちへ －秋枝先生からのメッセージを受けて－」

福岡女子大学名誉教授、秋枝簫子先生（1954 ～ 1985 在職）のこれまでの人生、後に続く女性たちへのメッセージをまとめた本が出版され、この本を読んだ福岡女子大学の学生、教職員、卒業生が、女性の生き方や働き方などをテーマに発表しました。

「知の発信－福岡女子大学研究紹介－」

福岡女子大学で行われている研究を一般の方にわかりやすく紹介するシリーズです。ナメクジの脳の働きから始まり、農業、歴史と、様々な分野を取り上げて解説しました。講座後には、受講者から質問が多く出され、大変好評でした。



「異文化への招待－国境や文化を越えて－」

多様な文化や経歴を持つ教員が、国際的視野に立ち、教育や政治、文化などをテーマに講演を行いました。第 1 回では海外体験学習の必要性について、第 2 回、第 3 回ではスリランカ、バングラデシュの政治やビジネスについて、第 4 回では、日本の文学・映画に見られる食生活描写について考察しました。

女性生涯学習研究部門

生涯学習カレッジ・特別講演会

生涯学習カレッジ

生涯学習カレッジは、“住民と大学が共に学ぶ、アクティブな学習の場”をコンセプトとした、今年度初めての取り組みです。“感性”を学習の柱として、前半は「日常の芸術」、後半は「地域の食文化」をテーマに、全 14 回開催しました。大学だけでなく、学外の実美術館・博物館や和食を提供するレストランなどに学習の場を広げ、大変好評でした。



第1回「生涯学習カレッジの開講にあたって」
「福岡女子美術館の展示作品について」



第2回「森の図書館～福岡女子大の建設コンセプト」
「九州国立博物館といのちのたび博物館の建物解説」



第4回「日本文化の中の母子関係」



第5回「福岡のアートを訪ねて」
「美術作品のみかた」



第6回「福岡アジア美術館・福岡市美術館を訪ねて」



第8回「博多の食」



第9回「喜多屋のお酒と和食を楽しむ」



第10回「食と器－博多曲物」



第11回「映画にみえる食生活の側面」



第12回「日本食とだしの文化」



第14回「修了式」
「平成 27 年度の振り返りと平成 28 年度生涯学習カレッジに望むこと」

福岡女子大学・福岡女子大学同窓会筑紫海会

福岡女子大学特別講演会

福岡女子大学と本学同窓会筑紫海会（つくしみかい）では、平成 24 年度より、多くの女性のロールモデルとなるような、国内外で活躍する女性リーダーを招聘した特別講演会を開催しています。

「スローフードな食卓を！イタリアから日本へおいしさの哲学」

日時：12月18日（金）14:00～16:00

場所：アクロス福岡 大会議室

平成 27 年度特別講演会は、ノンフィクション作家の島村菜津さんを講師にお招きし、開催いたしました。島村さんは、日本にスローフードを初めて紹介された方で、世界各国の食の問題やスローフード運動について、ご自身の体験を交えてお話しいただきました。講演後、書籍販売やサインも行われ、たくさんの方にご参加いただきました。



講師：島村菜津氏



講演

福岡女子大学基金 学 | 術 | 研 | 究 | 助 | 成 | 金

福岡女子大学では、福岡女子大学学生・卒業生による研究に対し、1件5万円の学術研究助成金を交付しています（公募枠）。また、修士・博士課程2年生で、各コース、各領域の推薦を受けた学生に対しても、1件3万円（各コース、各領域1名）の助成金を交付しています（推薦枠）。

募集期間は、毎年5月1日～5月31日です。ご興味をお持ちの方は、福岡女子大学または地域連携センターのホームページ等でご確認ください。

..... 平成27年度の交付について

<公募枠研究助成>

審査の結果、次の1件の研究に対し、助成金を交付しました。

都地 沙央里（福岡女子大学大学院 文学研究科 英文学専攻 博士課程後期課程）

「初期近代英国における女性の出版活動について -Elizabeth Alde を事例として」

<推薦枠研究助成>

各専攻から3件の推薦があり、審査の結果、次の2件の研究に対し助成金を交付しました。

（環境理学専攻及び生活環境学選考は該当者無のため交付はありません。また、国文学専攻対象者は辞退されたため交付はありません。）

安樂 菜月（福岡女子大学大学院 人間環境学研究科 栄養健康科学専攻 2年）

「補酵素結合 RNA の探索と機能解析」

真崎 知奈美（福岡女子大学大学院 文学研究科 英文学専攻 2年）

「『ハワーズ・エンド』における交通手段、絵画（芸術）」

地域連携センターセミナー室の利用案内

本学の授業、行事及び課外活動に支障のない範囲で、学外の方も地域連携センターのセミナー室を御利用いただけます。

利用を希望する方は、許可申請書により申込をしていただく必要があります。原則、利用したい日の属する月の3ヶ月前から、使用日の2週間前まで申請を受け付けており、使用料を負担していただいています。

詳しくは、地域連携センターまでお問い合わせください。



メール配信のご案内

地域連携センターでは、講座や講演会の情報をメールにて配信しております。ご希望の方は、rcle@fwu.ac.jp までお申込み下さい。



平成 28 年度 公開講座のご案内

若手教員による教養講座 ～知的好奇心への誘い～

国際教養学科の若手教員が、それぞれの専門分野をフランス、日本、フィリピンの事例を用いてわかりやすく解説します。
受講料：各回 500 円（3 回分まとめて申込の場合は 1,000 円）※高校生・本学学生無料

講座番号	日 程	テーマ	講 師
A-1	7 月 23 日（土） 13：30～15：00	南仏マルセイユの路面電車の歴史 ～社会史の視点から～	國府 久郎 (国際教養学科准教授)
A-2	10 月 15 日（土） 13：30～15：00	“歩くこと”の思想 ～日本近代文学における「散歩」の表象～	坂口 周 (国際教養学科講師)
A-3	11 月 26 日（土） 13：30～15：00	フィリピンの紛争と平和の行方 ～平和構築における市民社会と日本の役割～	山根 健至 (国際教養学科講師)

「Learning English through Environment, Videos and Medieval Paintings」

福岡女子大学の学部生 1～2 年生が履修する英語力習得のための Academic English Program 専任講師による英語講座です。
受講料：各回 500 円（3 回分まとめて申込の場合は 1,000 円）※高校生・本学学生無料

定 員：25 名

対 象：TOEIC 400 点以上もしくはそれと同等の英語力をお持ちの方

講座番号	日 程	テーマ	講 師
B-1	7 月 23 日（土） 10：00～11：30	Learning English: Students Developing their own Learning Environment	Wayne Gordon Macpherson (Academic English Program instructor)
B-2	7 月 30 日（土） 10：00～11：30	Learning English through Video	Robert Cochrane (Academic English Program instructor)
B-3	8 月 6 日（土） 10：00～11：30	Learning about English Proverbs through Medieval Paintings	Bruno Christiaens (Academic English Program instructor)

「知の発信 2016 ～福岡女子大学研究紹介～」

福岡女子大学の研究への興味を持っていただくため、それぞれの専門領域を一般の方向けにもわかりやすくご紹介します。
受講料：各回 500 円（4 回分まとめて申込の場合は 1,500 円）※高校生・本学学生無料

講座番号	日 程	テーマ	講 師
C-1	6 月 4 日（土） 10：00～11：30	食の安全・安心を守るためには	小林 弘司 (食・健康学科講師)
C-2	7 月 16 日（土） 10：00～11：30	九州・福岡と植民地台湾をめぐるアジア主義 ～田中一二郎の足跡～	宮崎 聖子 (国際教養学科准教授)
C-3	11 月 30 日（水） 14：40～16：10	「遺伝子組換え植物」をつくる技術とその安全性	大坪 蘭子 (環境科学科助手)
C-4	12 月 17 日（土） 10：00～11：30	京都議定書からパリ協定へ～気候変動対策の今～	岡山 俊直 (環境科学科准教授)

【備 考】

- * 性別・年齢を問わず受講できます。
- * 会場は、福岡女子大学地域連携センターや研究棟の LL 教室を予定しています。
- * 学内には駐車場が十分にございませんので、恐れ入りますが公共交通機関をご利用ください。
- * 悪天候等により、講座日時が変更になる場合があります。詳細はお電話等でお問い合わせいただくか、ホームページをご確認ください。
- * 講師や他の受講生に迷惑となるような行為、講座の進行を妨げるような行為を行った場合、受講をお断りすることがあります。このような場合でも、納入された受講料は返還いたしません。
- * 講座中の傷病について、本学として責任を負いかねる場合がありますので、お体の不調や異常を感じた時は参加を見合わせるなど、自己の責任において健康管理に十分ご注意ください。
- * 講座中の盗難、通学途中の傷病、その他の事故について、本学は一切責任を負いません。

【申込方法】

- * E-mail、Fax、ハガキのいずれかに、① 希望講座番号、② 氏名（フリガナ）、③ 住所、④ 電話番号、⑤ 年齢、⑥ Fax 番号（Fax 申込の方）をご記入の上、地域連携センターまでお申込みください。お電話でも受け付けております。
- * 受講証は発行しておりません。また、定員のある講座のみ参加可否をお知らせしています。（定員の無い講座は申し込んだ方全員が参加できます）
- * 各回申込とするか、まとめて申し込みとするかは、申込み時にお知らせください。まとめて申込の受講料のお支払いは、シリーズの初回のみ受け付けします。（最終回での割引額返還等はいたしません。）

●センター内託児室にて、託児サービスを行っています（業者委託／先着 5 名・無料）。
利用を希望される方は、講座開催日の 10 日前（土日祝除く）までに、直接委託先へお電話ください。費用は大学が負担します。

<委託先> (株) テノ・コーポレーション
〒812-0036 福岡市博多区上呉服町 10-10
☎0120-8000-29（受付時間：平日 9 時～19 時）

■お申込み・お問い合わせ 福岡女子大学 地域連携センター 〒813-8529 福岡市東区香住ヶ丘 1-1-1
TEL：092-661-2728（直通）／ Fax：092-692-3220
E-mail：rcle@fwu.ac.jp URL：http://www.fwu.ac.jp/collaboration/

★ご提供いただいた個人情報は、公開講座等の実施・運営、地域連携センターからのご案内等に使用させていただきます、他の目的には使用いたしません。

【発行】福岡女子大学地域連携センター